

# 東海第二発電所 ALCパネル等の調査結果について

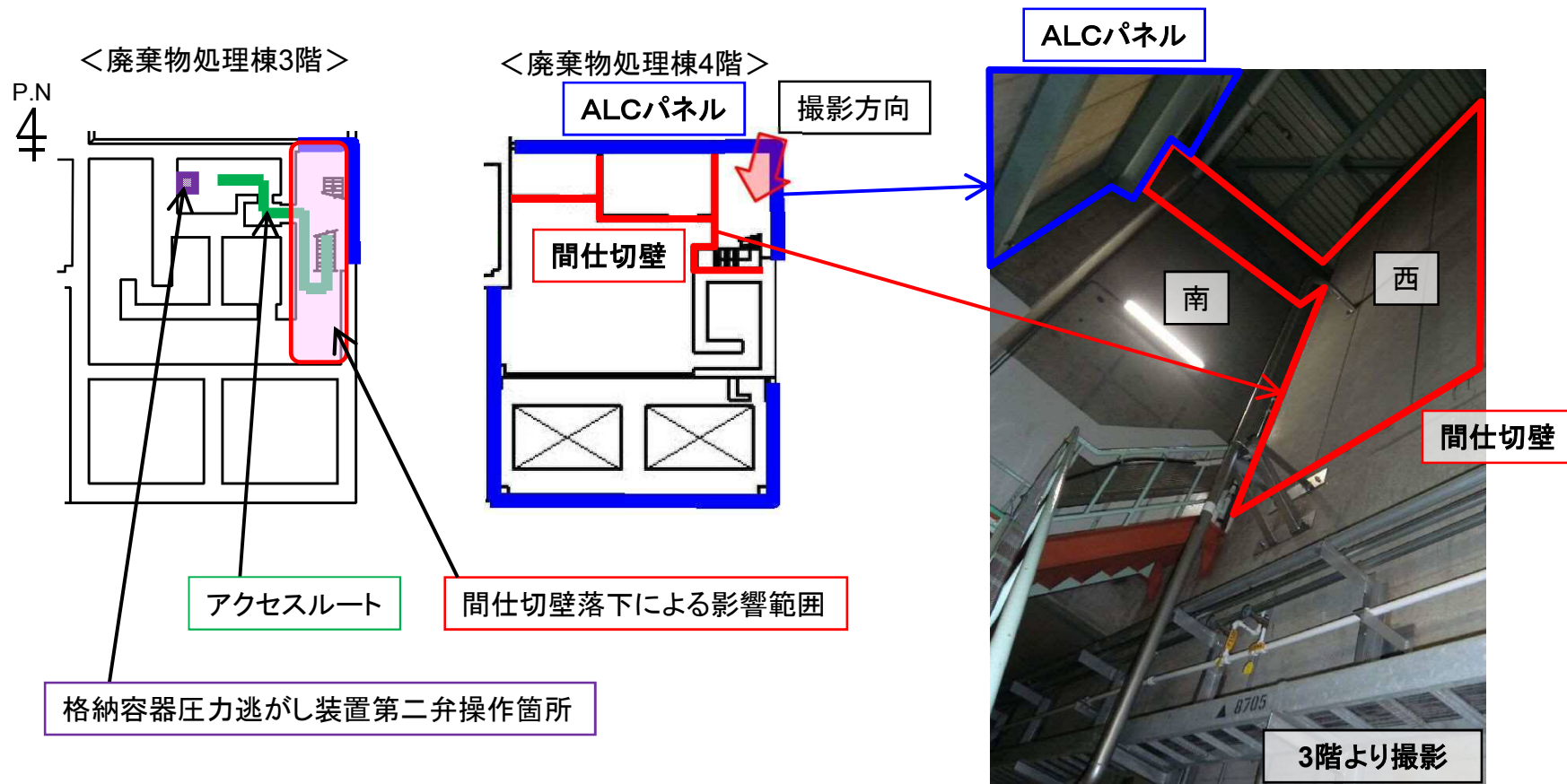
平成30年2月5日  
日本原子力発電株式会社

本資料のうち、は商業機密又は核物質防護上の観点から公開できません。

# 原子炉建屋廃棄物処理棟内間仕切壁の設置状況について

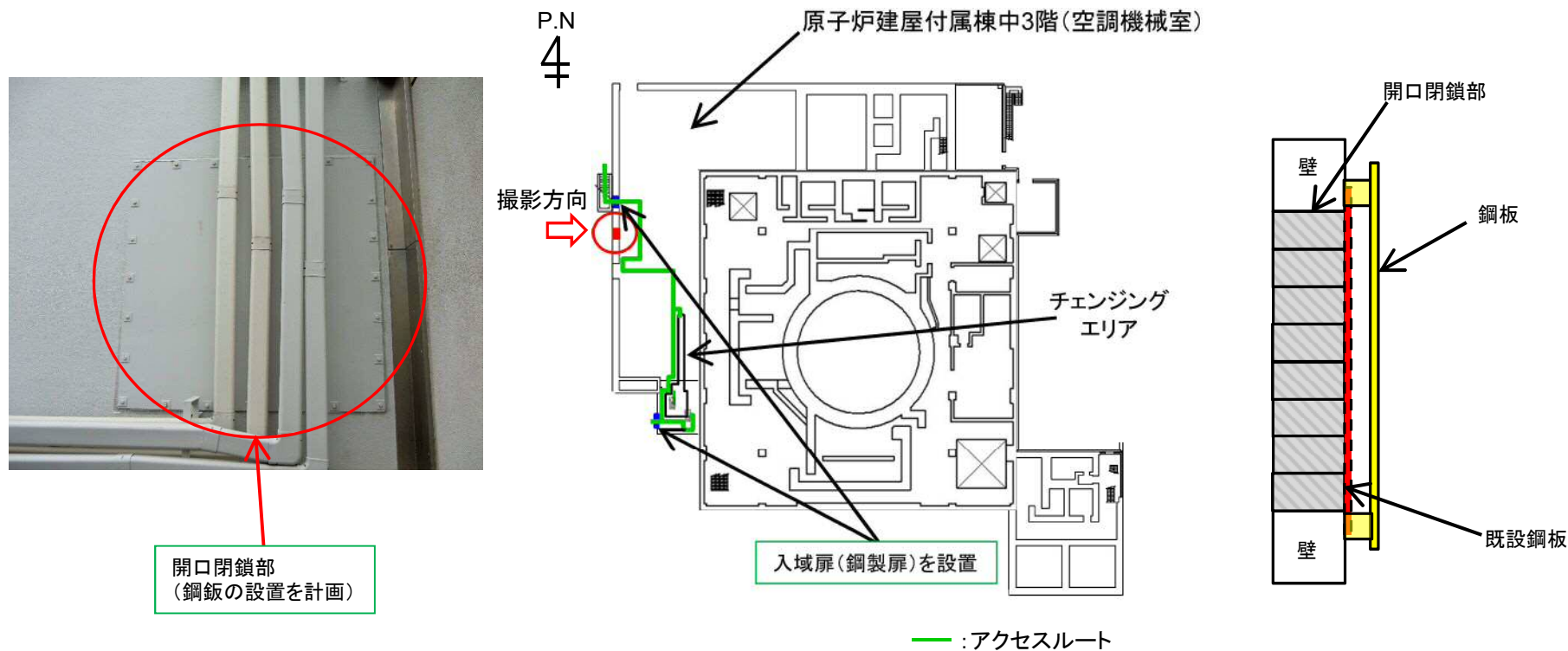
- 今回、原子炉建屋の外装材に使用されているALCパネル設置箇所の調査に追加して実施した現場調査において、廃棄物処理棟3階の格納容器圧力逃がし装置第二弁手動操作箇所に向かうためのアクセスルートの上部に、地震時に落下する可能性のある間仕切壁(フレキシブルボード※)が設置されていることを確認した。
- 当該間仕切壁の落下によるアクセスルートへの影響を回避するため、アクセスルート側への倒壊を抑止するサポートの設置等の対策を計画する。

※ 寸法: 高さ1,820mm × 幅910mm × 厚さ6.5mm  
重量(1枚あたり): 約25kg  
材質: セメントと繊維(不燃繊維)の混合



# 原子炉建屋付属棟開口閉鎖部の状況について

- 今回、原子炉建屋の外装材に使用されているALCパネル設置箇所の調査に追加して実施した現場調査において、原子炉建屋付属棟中3階(空調機械室)の壁面の一部に開口閉鎖部があることを確認した。
- 開口閉鎖部に竜巻飛来物が衝突した場合、アクセスルート上の環境条件への影響及び中央制御室換気系機器に損傷を与える恐れがあることから、開口閉鎖部の竜巻防護対策を計画する。



原子炉建屋付属棟中3階平面図

対策案(黄色箇所を設置)